



輝く未来

学校だより
令和6年11月29日
11月号
中種子町立野間小学校



↑ホームページ更新中
ぜひ御覧ください

「人権感覚」の育成

先日、全校朝会で「人権」についての話を子供たちにしました。人権とは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらにもっている権利」ですが、子供たちには分かりやすく「命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」が人権を守ることになると話しています。みんなと仲良くするためには、「相手の気持ちを考えて行動すること」つまり「思いやりの心」をもつことが大切だと思います。

さて、人権教育に関する研修会等でよく「人権感覚をみがくことが大切」という言葉を聞きます。「人権感覚」という言葉、「何となく分かるような分からないような」といった人もいないのでしょうか。調べてみると「人権感覚」とは「日常生活の中で人権上問題のあるような出来事に接した際に、直感的にその出来事はおかしいと思う感性や、日常生活において人権への配慮が態度や行動に現れるような感覚」とあります。また桑原律さんの詩集「光は風の中に」では、『人権感覚』ってなんですか。それはすどおりしない心 見て見ぬふりをしない心 他者の苦悩をわが苦悩として人間尊重のために行動する心のこと」とあります。要するに、人権感覚とは「おかしいことにおかしいと気づき、それを許さない心」だと言っています。

学校での子供たちの様子を見てみると、泣いている子や困っている子を心配して、先生に伝えにきたり、保健室にいっしょにつれて行ったりする児童の行動もよく見られます。相手の状況を見て、心配し、何かしようとする行動はとてもすばらしいと思います。また、日常の集団生活の中で、誤った行動や言葉を注意する姿も見られます。子供たちの人権感覚も少しずつ育ってきていると感じています。

12月には「校内人権旬間」が計画されています。また本年度は「子供の人権プロジェクト」の推進校に指定され、県教育庁人権同和教育課と連携して、児童及び職員、保護者を対象に人権に関する学習の場が計画されています。様々な学習や人との繋がりを通して、人権感覚豊かな子供たちに育ってほしいと思うことです。

～むし歯の治療をお願いします～

本校ではむし歯治療率 100%を目標にしています。現在のむし歯治療率は約 50%です。子供たちの健康生活を送る上で歯の健康はとても大切なことです。治療が必要な児童については、これ以上悪くなる前に治療をお願いします。

手洗い・うがいの徹底を

全国的に様々な感染症が流行しています。昨年度の12月は、インフルエンザの流行で多くの学級閉鎖をすることとなりました。感染症対策として、帰宅時の手洗い・うがいなどご家庭でも御指導のほどよろしくをお願いします。2学期の終業式を全員元気で迎えらるるよう願っています。



校長 吉國 耕二

思いやりの心で一人一人のよいところを見つめよう～校内人権週間～

12月5日～14日は校内人権週間です。全校朝会で校長先生の話の聞いたり、各学級での道徳の授業の中で考えたりし人権について考えます。

さて、ドラえもんが登場する野比のび太と、アニメ鬼滅の刃に登場する善逸。二人の共通点から人気の秘密に迫ります。まず、のび太君は勉強が苦手、スポーツも苦手、友達にいじめられるとすぐにドラえもん泣きつきます。しかし、のび太君の特技は「あやとり」と「射撃」特に「射撃」の腕前は、命中精度、早打ち共にプロ級でなんと早打ちの速度は「0.1秒」。これはあの「次元大介」や「ゴルゴ13」をも上回ります。一方、善逸は、臆病で消極的。本人曰く「怯える 逃げる 泣く」何かあるたびに主人公炭次郎にすぐ泣きつきます。また「雷の呼吸」の使い手ですが、6つの型のうち「壱の型 霹靂一閃（へきれきいっせん）」しか使えません。ただし、そのスピードは「雷光」にも例えられるほどの神速の域に達しており、度々自分よりも強い鬼を倒しています。

ここまで見てきた二人の共通点は何か。それは「他の人にはない自分らしい一芸をもつ」ということです。人は誰しもできない自分を他人と比べ、劣等感をもってしまいがちです。でも大事なことは、人と比べるのではなく、自分の中でできることを探すこと、そしてそれを少しずつ磨いていくことではないかと考えます。善逸の育てたじいちゃんが言った言葉です。

ここまで見てきた二人の共通点は何か。それは「他の人にはない自分らしい一芸をもつ」ということです。人は誰しもできない自分を他人と比べ、劣等感をもってしまいがちです。でも大事なことは、人と比べるのではなく、自分の中でできることを探すこと、そしてそれを少しずつ磨いていくことではないかと考えます。善逸の育てたじいちゃんが言った言葉です。

「いいんだ善逸 お前はそれでいい ひとつできれば万歳だ。ひとつのことしかできないなら それを極め抜け」

この人権週間を通して、子供たち一人一人がもつ「よさ」を互いに見つめ合い、認め合えるそんな仲間であふれる野間小学校となっていくことを期待しています。

読書の楽しさを味わいました ～どんぐり読書週間～

10月18日～22日はどんぐり読書週間でした。日頃からたくさん本に親しんでいる子供たちですが、特に、この期間は、「先生方の出張読み聞かせ」や図書委員会が企画した「ペア読書」等いろいろな企画やイベントを通して本に親しみました。

様々なイベントの中で、ペア読書では、1・6年生、3・5年生、2・4年生に分かれ、上学年の子供が下学年の子供に読み聞かせを行うもので、上学年の子供たちは自分のおすすめの本をどきどき緊張しながら読み聞かせを行っていました。下学年の子供からは「お兄ちゃんの声が面白かった。話の続きを自分でも読んでみたいな」という声が聞かれ、本に対する興味関心の高まりを感じました。このどんぐり読書週間は、読書の楽しさを更に実感することのできた期間となりました。



ドラえもん「野比のび太」	鬼滅の刃「善逸」
<ul style="list-style-type: none"> ○小学5年生 ○勉強は苦手 ○スポーツも苦手 ○ジャイアンズネ夫にいじめられるとドラえもん泣きつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○鬼滅隊剣士16歳 ○臆病で消極的 ○本人曰く「怯える 逃げる 泣く」何かあるたびに炭次郎泣きつ
<ul style="list-style-type: none"> ○射撃 ○命中精度 ○早撃ち「0.1秒」 ○次元大介・ゴルゴ13を上回る ○何度も仲間の危機を救う 	<ul style="list-style-type: none"> ○雷の呼吸 ○壱の型 霹靂一閃しか使えない ○そのスピードは雷光 神速の域 ○度々自分よりも強い鬼を倒す

【12月の主な行事予定】

3日（火）持久走大会 学級PTA	14日（土）土曜授業 増田宇宙記念館講演会
5日（木）校内人権週間（～14日）	21日（土）親父の会「門松づくり」
10日（火）持久走大会（予備日）	24日（火）2学期終業式

現在、中種子中学校では令和8年度の制服リニューアル（現在の小学校5年生入学生から採用予定）に向けて、各社から見本としてお預かりしている制服を中種子中多目的ホールに展示中です。興味・関心のある保護者の方は職員室へお立ち寄りの上、見学をしていただくようお願いします。なお、展示は12月までです。